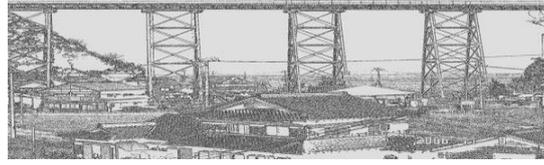


鉄橋

～心の架け橋～



第540号

令和4年6月号の1
香美町立余部小学校
香美町立余部幼稚園

沿道の紫陽花が心和ませてくれる頃となりました。1学期も2カ月過ぎ、折り返しです。6月6日(月)から5日間、香住区5校連合の自然学校が実施されています。チャレンジ・仲間作り、実り多き体験となることを期待しています。

6月19日(日)には授業を参観いただき、その後、PTA奉仕作業としてプール掃除等の環境整美を計画していただいております。また17日(金)には、防災教育の取組として避難訓練と引き渡し訓練を予定しております。お忙しい中、度重なる行事となりますが、何卒ご理解いただきご協力をよろしくお願いいたします。



5月30日から6月3日までの5日間、香住第一中学校より、2年生4名が余部小学校と幼稚園にそれぞれ2名ずつ「職業体験」活動の一環としてトライやるウィーク体験にきました。

授業の手伝いや教室のかわいい掲示物づくり、読み聞かせ、花植え集会の準備や活動の補助など、支える立場として活動しました。毎日の草取りのお陰で、運動場もとてもすっきりとしています。よもぎを探り色んな料理づくりのままごと(と)に張り切る園児たちと、頭を寄せて一緒に遊んでいる姿、器用にも後ろ向きに素早く走りながら小学生と駆け回る姿など、賑やかで微笑ましい姿が見られました。最終日は、小学校では6年生を対象として、中学校生活について説明してくれました。幼稚園では心温まるお別れ会が開かれ、5日間の体験を終えました。

トライやるウィーク 5月30日～6月3日

「つながり」

6月2日香住高校、香住第一中学校より小・中・高あいさつ運動にきてくださいました。張りのある中・高生の声に、小学生も元気に挨拶を返していました。香住高校からは「花いっぱい運動」のお花も頂いています。挨拶やお花で「思いやりの心」も育ち、地域が温かくつながっているようです。



「花植え集会」

5月31日に、全校生による「花植え集会」を行いました。余部小学校を初めて訪れた時、玄関周りの花壇の美しさに関心したことを今でも覚えています。マリーゴールド、ペンタス、センニチコウなどのお花や地域の方からご厚意でいただいたお花を、きれいな花が咲くようお願いを込めて丁寧に植えました。トライやるウィーク中の卒業生が小学生の時から続いている伝統的な活動だと教えてくれました。色とりどりの花々に、優しさを感じ、ほっと心が癒やされます。余部小を訪れる方々の心もきっと和ませてくれることと思います。



コラム

先日6年生の理科の授業で、宇宙へ放たれるロケットの仕組みを学習していました。ロケットには大量の酸素が積まれていることが示され、「それはなぜか。」の問いに「燃える時に酸素が必要だから。」と即座に答えが返ってきました。「ガソリンとかの燃料だけ積んでいるかと思ってた。」とつぶやきが聞こえました。「昔、人間は『月に行きたい』という夢を描きました。『長いはしご』のアイデアから始まり、長い時をかけ、多くの人々の様々なアイデアと実験を繰り返して、その努力により「ロケット」を発明し、夢を実現しました。人は頭に思い描いた夢を実現することができるのです。」そんな授業者の投げかけに、傾く児童の姿がありました。

青色ダイオードの発明で有名になった中村修二さんは「私たちは壁にぶつかるととき〇〇がないからできない」ではなく「自分のやりたいことは〇〇だ。そのためには〇〇が必要だ」と考える。」と前向きな姿勢で自分の決めた目標に向かっていったそうです。

「目的に向かっていく努力」を自分の生活に位置づけていくことが、これからの一人一人の「目的に向かう道」につながっていきます。学校では、子どもたちの夢を育み支えていけるよう、子どもたちとの毎日を見つめていきたいと思えます。子どもたちの色々な取組やがんばりを、ご家庭でもぜひ応援してあげてください。